

○集落が一丸となって耕作放棄地を防止

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県 <small>うわじまし</small> 宇和島市 <small>こくほしらはま</small> 石応白浜			
協定面積 61.1ha	田	畑 (100%)	草地	採草放牧地
		柑橘		
交付金額 703万円	個人配分			40%
	共同取組活動 (60%)	水路・農道・SP管理費他		55%
		有害鳥獣駆除 景観作付		4% 1%
協定参加者	農業者 83人、石応地区用水組合 (構成員56人)			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

石応白浜集落は、前面は宇和海に面し、背後は急峻な山を配しているが、温暖な気候で柑橘の生産に適した自然条件に恵まれている集落である。

しかし、樹園地は急傾斜であり、また、農業者の高齢化が進んでいるため、農作業は大変厳しく、さらに、近年は鳥獣被害も深刻化し、耕作放棄地の発生が懸念されていた。

このような状況の中で、中山間地域等直接支払制度が始まったため、当集落では、平成12年度当初からこの制度に取り組み、集落協定を締結した。

3. 取組の内容

当集落では、農道・水路の維持活動（草刈り、土砂除去等）及び鳥獣被害対策として電気柵や箱わなの設置を行っている。

水利組合を中心にスプリンクラー防除活動を積極的に展開し、農業生産活動の体制整備を図っている。

また、多面的機能の増進として集落協定締結を機に、集落を花で飾ろうと「花いっぱい運動」に取り組み、その後「さくら会」を設立運営し、桜等を植えて集落景観の保全を図っている。



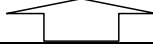
【集落の風景】



【農道の補修状況】

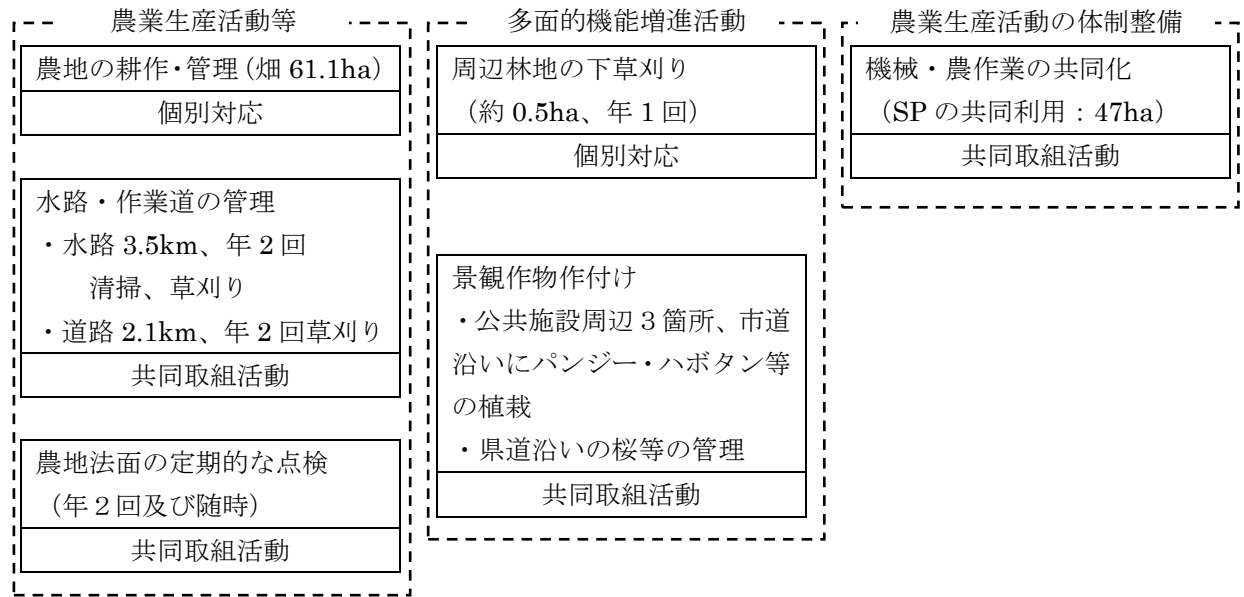
【集落の将来像】

○ 高齢化、兼業農家の増加による耕作放棄地の増加を防止するため、今まで以上に基盤整備に取り組み農業生産活動の充実を図る。



【将来像を実現するための活動目標】

○ 協定参加者で農道・水路等の管理作業を行い農地保全を図る。また、多面的機能の増進により環境意識の高まりを促す。



4. 今後の課題等

協定締結以前は、高齢者が多く後継者不足のため耕作放棄地の発生防止・解消活動に消極的であったが、協定締結による話し合いを契機として、集落内農家に「農地は集落の財産」という意識が芽生え、耕作放棄地の発生防止・解消が図られている。

また、多面的機能を増進する活動により集落内の環境意識が高まり、活動に広がりを見せている。

高齢化が進む中で、集落全体で農地を守り、優良園地を次世代へ集約するとともに、中山間地域における農業生産活動の取り組みを継承していくことが、今後の課題である。

【第 2 期対策の主な成果】

- 集落全体で取り組むという意識付けができた。
- 農道の補修箇所の抽出を行い、補修を実施した。
- 共同で農道や水路の管理を行うことで、より一層管理に関心が高まった。